

「人間が幸せに生きていく」・・・それが公明党の目的です。

市議会公明党も、それを実現するために市民の皆様の方に寄り添い全力を尽くしています。

子ども医療費(通院)助成 小6まで…来年度

私たちは「安心の子育て」のためには「医療費の助成が第一」と訴え続けてまいりました。現在、小学校3年生までが助成対象です。平成25年9月議会での公明党の議会質問に対し、市長は「来年度に、子どもの通院医療費助成を小学校6年生まで引き上げる。引き続き中学3年生までの実現を目指す。」と明言しました。中学3年生までの引き上げについて、私たちはこれからも頑張ります。

(問い合わせ☎53-1111 保険年金課)



妊婦健康診査 11万6840円に

子どもと妊婦さんを守ることは、未来を守ることです。私たちは安全な出産のための14回の妊婦健診の無料化を訴えてきました。今まで7万円だったものが、平成25年度より標準的な妊婦健診費用はすべて助成されるようになりました。これで安心です。

(問い合わせ☎55-0416 健康推進課)



3ワクチンの定期接種

子宮頸がん・乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するヒブ・小児用肺炎球菌の予防ワクチンが平成25年4月から予防接種法に基づく定期接種になっています。公明党の国と地方のネットワークで強力に推進したものです。

(問い合わせ☎55-0416 健康推進課)



高齢者用 肺炎球菌ワクチン

70歳以上の高齢者に、一回につき7～8千円の自己負担のうち、3千円の助成が実施されるようになりました。一回の接種で約5年間有効です。

(問い合わせ☎55-0416 健康推進課)

放課後児童会 5年生まで…来年度

保護者の強い願いを受け、放課後児童会の学年延長に取り組んでいます。平成25年10月15日に行われた「放課後児童会運営審議会」で、対象学年を来年度から5年生に拡大することについて承認されました。

「放課後子ども教室」も来年度に三日市小・長野小での実施が決定したことにより、すべての小学校で実施されることとなります。本当に良かったです。

私たちは親の就労に関係なく、全児童が学校などで放課後を安全に過ごすことができるような仕組み作りに力を入れています。

(問い合わせ☎54-0005 青少年育成課)



平成24年9月3日 子どもの居場所の確保に関する要望をしました。

私たちは来年度予算編成に向け、次の 10 項目を芝田市長に要望しました。

市議会公明党の重点要望事項

行財政改革として

- 1、東京都方式の新公会計制度の実施
- 2、各証明書のコンビニ交付の実現

戦略的施策として

- 3、公共施設等にリース方式等による太陽光発電設置など、再生可能エネルギーに対する取り組み
- 4、企業や学校等の誘致、及び起業家の育成支援
- 5、グリーンツーリズムとして「森林セラピー基地」「農業民泊」等の実現
- 6、転入・定住促進等の拡充
 - ・新婚世帯補助の継続
 - ・空き家バンクの有効活用
 - ・3世代同居近居の支援

セーフティネットとして

- 7、中学 3 年生までの通院助成の段階的实施と延長保育料金の公私間格差是正
- 8、子どもの居場所として「放課後児童会」の全学年への拡充と「放課後子ども教室」の全面展開
- 9、健康寿命を延ばすため、介護・医療・福祉・子育てなどを視野に入れた「河内長野版ポイント制度」の確立
- 10、自主防災組織率 100% の早期構築

「市議会報告会」の実施

私たちは、本会議で議決された事や市の課題などを広く市民の皆様にご覧いただく必要があると考え、平成 23 年 6 月議会から「市議会報告会」を定期的で開催してきました。報告会の最後に意見交換会も行っています。参加者からは「市の財政がよくわかった。」「これからも開催してほしい。」などの声が寄せられています。開催日時は市議会公明党の HP にも掲載していますので、是非ご覧ください。

(問い合わせ ☎ 53-1111 内線 215・285)



キックスでの議会報告会のようす

通学路の安全

亀岡市の集団登校中の事故を受け、平成 24 年 5 月 23 日、私たちは市長と教育長に「通学路安全対策についての緊急提言」を行い「関係者が一堂に会し、子どもの視点で、通学路を総点検すること」などを申し入れました。その年の 8 月に PTA、教職員、警察、府・市の道路担当者が一緒に通学路の点検を行い、順次対策がなされています。

国でも公明党の主張が反映され、通学路の安全対策費用が確保されています。

(問い合わせ ☎53-1111 教育総務課)



平成 24 年 5 月 23 日
通学路の安全対策緊急提言をしました。

市民後見人

「市民後見人」とは、判断力が不十分になった高齢者をサポートする「成年後見人」を弁護士などの専門職だけに任せるのではなく登録を行った市民が家庭裁判所から選任を受けて無償で行うものです。

私たちは、高齢社会に向け「広く市民に後見人の資格を取ってもらうこと」を要望していますが、まずはその講座を開くことから実施されるようになりました。

(問い合わせ ☎53-1111 生活福祉課)

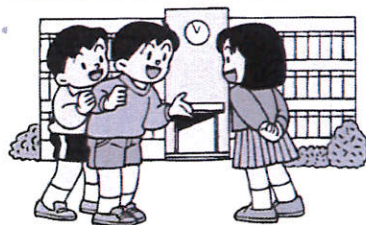


ピロリ菌 保険適用… 胃がんの予防が大きく前進

胃がんの最大の原因であるピロリ菌の感染による慢性胃炎等についての除菌が、国での公明党の努力が実現し、平成 25 年 2 月 21 日から、保険適用となりました。

今後、私たちは、健診段階でのピロリ菌除菌に力を入れたいと思っています。

(問い合わせ ☎55-0416 健康推進課)



学校の耐震化… 来年度すべての小中学校に

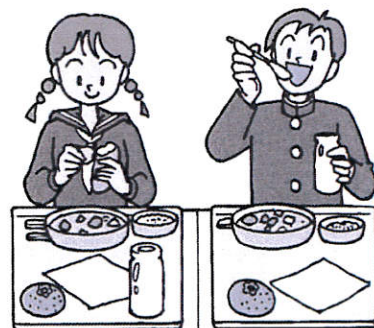
東日本大震災を受けて、避難所としての学校の在り方が問われています。私たちは住民と共に市内すべての小中学校で平成 23 年 10 月に『学校防災拠点総点検』を実施しました。

公明党が与党になり、防災・減災に対する予算が確保され、本市でも防災対策が進んでいます。学校の耐震化も来年度にはすべての小中学校で終わる予定です。次は「非構造部材」(天井や壁など)の耐

中学校給食

「家庭からのお弁当は大切。しかしお弁当を持ってくることができない中学生がパンばかりではいけない。何らかの対策が必要だ。」という一貫した私たちの主張が実り、本市では「選択制の中学校給食」が、平成 23 年度は東中、平成 24 年度は西・加賀田・南花台中とはじまり、来年度には 7 中学校すべてで実施される予定です。

(問い合わせ ☎53-1111 学校教育課)



障がい者就労支援

障がいがある人の社会参加は地域全体で支える必要があります。私たちは「市役所の元食堂を障がい者の就労支援の場にしたい。」というお声を頂き、食堂の機能を持つ障がい者就労施設として実現させることができました。
(問い合わせ☎53-1111 障がい福祉課)



障がい児の進路相談

今までわかりにくかった、障がいがある小中学生の進路相談窓口を明確にしました。そこでは、学習面、健康面、生活面の相談もできます。
(問い合わせ☎53-1111 学校教育課)

事業仕分け

「市民を交えた目に見える事業仕分けをするべきだ。」と私たちは訴えてきましたが、平成23年度より実現されています。結果はホームページで公表され、次年度予算に反映されています。



(問い合わせ☎53-1111 行政改革課)

大阪一の情報教育

私たちは情報教育に力を入れています。現在、市内のすべての小・中学校がインターネットで結ばれベトナムやアメリカなど世界各国と交流授業を展開しています。また、これらの技術を生かして、今後は、ネットいじめの対策にも取り組んでいきます。
(問い合わせ☎53-1111 教育総務課)

デージー教科書

デージー教科書は読むことが困難な子ども達に対し、様々な工夫で文字の習得を容易にするためのものです。すべての小・中学校に配置されました。私たちはその必要性を訴えてきましたが、今後は更なる活用を求めています。



デージー教科書のシステム

キックスの図書館にはデージー図書が配置されています。高齢者や障がいがある人たちの読書の助けとなり、大変喜ばれています。
(問い合わせ☎53-1111 学校教育課)

防災無線の充実

今まで親局から一方通行だった無線が、デジタル化され子局からの連絡も可能となりました。設置箇所も32カ所から47カ所へと市内全域に拡大されます。
(問い合わせ☎53-1111 危機管理室)

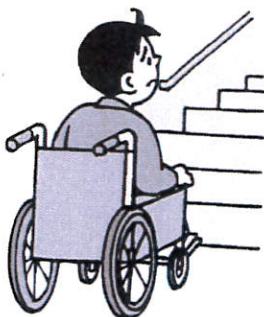


コミュニティ・カレッジ (市民大学)

「市民のための市民大学講座が必要だ。」と訴えていたものが、芝田市長が就任し、「くろまる塾」として結実しました。このことにより市民の生きがいつくりが広がっています。



(問い合わせ☎53-1111 生涯学習課)



駅にエレベーター

交通バリアフリー法(国で公明党が推進)に基づき、三日市町駅から始まって河内長野駅・美加の台駅・千代田駅にエレベーターが設置されました。高齢者や車いすの人、お子様連れの人たちに大変喜ばれています。

(問い合わせ☎53-1111 交通政策課)